

事務事業名	コード1	33500	消防団施設強化事業	事業種別	<input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画	課	消防本部総務課		
	コード2				<input type="checkbox"/> 新市建設計画	所属班	消防団班		
施策体系	施策	30	消防力の強化	事業種別	<input type="checkbox"/> 総合戦略	電話番号	63-5355 内線		
	施策の展開	59	非常備(消防団)消防体制の充実		<input type="checkbox"/> 復興計画	予算科目	会計 9 1 2		
					<input type="checkbox"/> 定住自立圏構想	根拠法令	消防組織法、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律 消防力の整備指針、消防団の装備の基準		
					<input type="checkbox"/> 行政改革アクションプラン				
					<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業				
					<input type="checkbox"/> 簡易評価				

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成__年度～ <input checked="" type="checkbox"/> 開始年度不詳  <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成__年度～ 平成__年度まで ※全体像を記述→	火災、風水害及び地震等による災害時に、消防団員が災害活動に安全に従事する為、基準に基づき必要な装備品を整備する。全団員 活動服一式、保安帽は整備済だが、随時更新。救助用安全靴・防塵メガネ・防塵マスク・耐切削性手袋は今後整備する。各部 防火衣一式(各部5セット)、救命胴衣(各部5着。27年度装備予定)、車載用デジタル無線機(27年度完了)、投光器、発電機(共に各部1台)は整備済。チェーンソー(各部1台。27年度配備完了予定)、携帯用デジタル無線機(班長以上の階級)については、検討していく。  <b>【業務の流れ】</b> 毎年、各部に装備品の調査を行い、経年劣化等による装備品の補充・交換数を把握する。県の補助金を活用して整備している。前年度に事前要望→前年度末に申請→第一次内示(5月中下から6月上旬)→執行。以降2次、3次と追加要望があり、その時に採択されなかった装備品を追加要望する。

(2) トータルコスト

① 費目の内訳(26年度の実績) 単位:千円		単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)	
1.需用費	3,238	千円	6,963	6,546	3,238	2,214	
2.備品購入費	17,896	千円	9,319	2,410	17,896	33,503	
	0	千円					
	0	千円					
	0	千円					
② 特定財源の内訳(26年度の実績) 単位:千円		事業費計(A)	千円	16,282	8,956	21,134	35,717
1.国庫支出金	0	千円					
2.都道府県支出金	3,521	千円	2,365	1,490	3,521	5,951	
3.地方債	13,700	千円			13,700	27,200	
4.その他	0	千円					
前年度比増減理由:車載用デジタル無線機の装備。(26・27年度)		一般財源	千円	13,917	7,466	3,913	2,566
③ 延べ業務時間の内訳(26年度の実績) 単位:時間		人員費	人	0.12	0.12	0.12	0.12
30日×8時間×団班1名=240時間		延べ業務時間	時間	240	240	240	240
		人件費計(B)	千円	912	912	912	912
		トータルコスト(A)+(B)	千円	17,194	9,868	22,046	36,629

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
	26年度実績(26年度に行った主な活動) 消防車両に車載用デジタル無線機(団波)を設置。  27年度計画(27年度に計画している主な活動) 消防車両に車載用デジタル無線機(団波)を設置。 救命胴衣を装備する。	ア 車載用デジタル無線機整備台数 イ 携帯用・基地局デジタル無線機整備台数(車載用デジタル無線受合機整備済数) ウ 救命胴衣整備数(救命胴衣整備済数)	台 台 着	- (51) (111)	- (51) (111)	17 3 (111)	34 - (216)
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
	消防団(部及び団員)	ア 部数 イ 基本消防団員数 ウ 機能別団員数	部 人	47 893 71	47 866 69	47 851 51	47 845 46
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
	常備消防と連携し、消防力の強化を図る。火災、風水害等の災害救助活動における消防団員の安全確保を図れる。	ア 訓練参加人数(規律、全体、防災、津波訓練参加人数/(基本消防団員数×5)) イ 公務災害申請数( )	人(%) 人	3034(67.95) 1	2501(57.76) 3	2502(58.80) 6	2550(60.36) 2
	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
市民が火災被害から守られる、火災による被害が最小限になる、緊急時に人命が守られる	ア 火災発生件数(出動延べ部数)	件	31(223)	24(179)	28(276)	20(200)	

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か?どんな経緯で始まったか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか?	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
合併前から各市町で装備していた。合併前の各市町で装備内容がバラバラであったが、合併後装備内容の統一を図るよう整備を進めてきた。	平成25年2月に消防団の充実強化に関する法律が新たに制定され、消防団の装備の基準が改正された。	国は消防団の装備の強化を図るため、交付税を上げた。旭市消防委員会において、団員の安全確保のため消防団の装備を計画的に進める必要がある、との方針が出された。

事務事業名	消防団施設強化事業	課名	消防本部総務課	班名	消防団班
-------	-----------	----	---------	----	------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつきか？意図することが上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 消防団の装備の強化を図ることは団員の安全確保はもちろん、消防・防災体制の充実につながる。又、地域の自主防災組織と連携することができる。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象は、各部及び全消防団員としているので適切である。意図についても、消防団の任務遂行の為に法律で示された基準に沿って装備を強化しているものであり、適切である。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 消防庁から示されている消防力の整備指針、消防団の装備の基準により進めており、妥当である。
有効性 評価	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 消防力の整備指針、消防団の装備の基準に基づき装備している。近隣市と比較しても装備は充実している。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？成果の向上余地はどの程度あるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】↷ 消防団の装備の基準で示され、未装備の資機材備品を順次装備していけば消防団の活動が向上する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (1) 事務事業名：(自主防災組織の施設整備補助事業) (2) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 自主防災組織とは役割が異なり、施設強化において連携することはできない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 消防力の整備指針及び消防団の装備の基準は全国同じであり、装備する備品等に差異はないが、団員の定数を見直して適正人員に削減すれば事業費の削減はできる。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 県の補助金交付決定前でも事前着手ができるようになったので、効率よく入札執行ができるようになり、業務量の削減が期待できる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 消防団の災害活動は市内全域・全市民に対応するので、一部の受益者に偏っていることはない。また、法律で定められた消防団の装備の基準に沿って統一的に整備が進められており、公平・公正である。

## 3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

<b>(1) 1次評価者としての評価結果</b>		<b>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</b>	
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	活動上、安全を配慮した装備の充実は最低限必要な事業であるが、事業費等の削減には団員定数を見直し適正人員とすることが必要である。	
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

<b>(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2~3年後を目処にした方向性</b>		<b>(3) 改革・改善による期待成果</b> (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
					コスト																		
			削減	維持	増加																		
成果	向上	○																					
	維持																						
	低下																						
<b>(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？</b>																							
いつまでに	なにを、どうするのか？																						
① 平成30年4月1日	① 団編成及び条例改正による団員定数の削減																						
<b>(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</b>																							
① 消防団員の定数削減について、地域住民の理解を得る。																							